



Chateau de la Vieille Chapelle

GRAND VIN DE BORDEAUX

Article publié dans le quotidien japonais Yamagata Shimbun du 29 janvier 2008

(5) 2008年(平成20年)1月29日(火曜日)

レジャー ホビー

旅

世界一のワイン王国フランス。中でも南西部の大西洋に臨む都市ボルドーを中心とする地域は極上品の産地として知られる。高速列車TGVに乗



「シャトー・ド・ラ・ビエイユ・シャペル」の建物。内部が醸造所になっている
—フランスシロンド県リュゴン

「シャトー」を見学 フランスボルドー

極上ワイン飲み干す

り、この地のワイン醸造のドルドーニュ川とガロシス川沿いに育つ良質のワイン専用のブドウ品種「ボルドー」種に美酒が生まれた秘宝は、大西洋に接するボルドー川、上流、近年、フランスでは醸造やブドウ園見学と試飲ができる「ワイン醸造所」が盛んで、全国の醸造所約五千方所が一般公開されている。ボルドーもワイン観光の中心地の一つ。古風な街並みは、古くから英国など海外へワインを輸出してきた港町らしく、パリとは違った異国情緒に包まれている。

【写真】パリからボルドーへはTGVで約三時間。フランス政府観光局ホームページアドレス <http://jp.france-estude.com/>



「シャトー」を主に入るのは長年の夢でした。とシャトーのフレデリック・マリエさん(50)。パリ生まれでルボンヌ大卒。日本に留学したことのある観光客でした。企業経営者として資金を蓄え、二〇〇六年、ついに「シャトー」を約百万ユーロ(約一億六千万円)で購入。妻を供三人と暮らし、赤白、ロゼ三種のワインを生産している。毎週金曜日には、試飲と昼宴会場を兼ねた観光客の見学コースも設けている。マリエさんの案内でシャトー内「プロ」と呼ばれるこの伝統儀式に加わり、観採れたその光景はすっかりボルドーワインびいきになってと、発酵がいた。

このシャトーを約百万ユーロ(約一億六千万円)で購入。妻を供三人と暮らし、赤白、ロゼ三種のワインを生産している。毎週金曜日には、試飲と昼宴会場を兼ねた観光客の見学コースも設けている。マリエさんの案内でシャトー内「プロ」と呼ばれるこの伝統儀式に加わり、観採れたその光景はすっかりボルドーワインびいきになってと、発酵がいた。

WWW.CHATEAU-DE-LA-VIEILLE-CHAPELLE.COM

Frédéric & Fabienne MALLIER, 4 Chapelle, 33240 Lugon et l'Île du Carney, SARL - RCS 490 473 907 00015
Tel : 05 57 84 48 65 – Fax 05 57 84 40 28 - f.mallier@chateau-de-la-vieille-chapelle.com